



American Heart Association  
Mission:Lifeline®  
Stroke

## 脳卒中リハビリテーション 計画チェック リスト

良い決断は、良い質問を  
することから始まります。

ここに掲載されている質問  
や情報は、あなたとご家族  
がリハビリの意思決定プロ  
セスを進めるうえでの指針  
となります。

### 私の脳卒中についての質問

- ・ 私の脳のどの部分が影  
響を受けましたか？
- ・ 私の脳卒中の原因は何  
ですか？ また、再発を  
防ぐにはどうすればよ  
いのですか？
- ・ 薬の服用は必要になり  
ますか？
- ・ この脳卒中は私の生活  
にどのような影響を及  
ぼしますか？

### 退院前に確認すべき質問

- ・ なぜリハビリに行く必要が  
あるのですか？
- ・ 私の保険では、どの種類の  
リハビリが適用されま  
すか？
- ・ 自宅から最も近い脳卒中リ  
ハビリ施設はどこですか？
  - その施設ではどのような療法が  
受けられますか？
- ・ 自分に合ったリハビリ施設はどの  
ように選べばよいですか？
  - どのような点を考慮すべきですか？
- ・ 今後、どのような治療や受診が必  
要になりますか？
- ・ リハビリ施設へはどのように通いますか？
- ・ 私の脳卒中からの回復を支え  
てくれる人は誰ですか？

### リハビリ専門職への質問

- ・ 私の障害は日常生活にどのような影響を  
与えていますか？
- ・ 回復しているかどうかは、どのように分  
かりますか？
- ・ リハビリの1日は通常どのような流れで  
すか？
- ・ リハビリでは具体的にどのようなことを  
行いますか？
- ・ 医師の診察はどのくらいの頻度で受けま  
すか？
- ・ リハビリはどのくらいの期間続きます  
か？
- ・ リハビリを終えて自宅に戻る準備がで  
きたことはどのように判断しますか？
- ・ リハビリ退院後も改善は続きますか？
- ・ 自宅を利用しやすくするにはどうすれば  
よいのですか？

### 家族が確認すべき質問

- ・ リハビリには家族や介護者はどのよ  
うに関わりますか？
- ・ 家族は患者ケア計画の話し合いに参  
加できますか？
- ・ リハビリプログラムを作成する際に、患  
者および家族の希望や目標は考慮されま  
すか？



American Heart Association  
Mission:Lifeline®  
Stroke

## 脳卒中リハビリ Q&A

### Q 脳卒中リハビリとは何です か？

リハビリテーション（リハビリ）とは、脳  
卒中によって影響を受けた能力です。例え  
ば、移動、身の回りの動作、コミュニケー  
ションなどを再び身につけられるよう支援  
することを目的としたものです。

### Q リハビリはどこで行われます か？

入院リハビリ施設、熟練看護施設、外  
来クリニック、または自宅などで行わ  
れます。

### Q 保険はリハビリをカバー しますか？

病院のケースマネージャーが、あ  
なたの保険で何が適用されるか  
を説明し、理解をサポートして  
くれます。

詳細はこちらから  
[stroke.org](https://stroke.org)

© 2025 American Heart Association, Inc. (米国税法  
501(c)(3)に基づく非営利団体)。無断転載・使用を  
禁じます。Mission:Lifeline は同協会の登録商標です  
。無断使用は禁止されています。



## リハビリテーション施設を選ぶ際のポイント

すべての種類の施設がどこにでもあるわけではありません。お住まいの地域によっては複数の選択肢がある場合もあれば選択肢がほとんどない、あるいは一定の距離を移動しなければ利用できない場合もあります。

保険の条件によって利用可能な施設が制限されることがあります（例：特定の施設がご加入の医療保険プランの「ネットワーク内」に含まれていない場合など）。

お住まいの地域に複数の選択肢がある場合は医療チームに推奨施設を相談してください。

お住まいの地域で利用可能なプログラムについてはケースマネジャーに詳しい情報をお尋ねください。

## 施設の種類の種類

入院リハビリテーション施設 (IRF)
<ul style="list-style-type: none"> <li>医師の診察：週3日以上</li> <li>1日3時間の療法を週5日実施</li> <li>24時間体制の専門看護ケア</li> <li>対象：医学的な課題を抱えている場合でも、集中的なリハビリに耐えられる回復者</li> </ul>
熟練看護施設 (SNF) またはクリティカルアクセス病院のスウィングベッド
<ul style="list-style-type: none"> <li>医師がケアプランを監督するが、診察頻度はIRFより少ない</li> <li>少なくとも1日15分、週5日の療法</li> <li>IRFよりも負担の少ない療法だが、滞在期間が長くなる場合がある</li> <li>対象：医学的な問題は比較的少ないが、重大な障害があり、1日3時間の療法には耐えられないものの、リハビリの効果が期待できる回復者</li> </ul>
長期急性期医療施設 (LTACH)
<ul style="list-style-type: none"> <li>医師が毎日診察を行う、病院レベルの医療ケア</li> <li>療法は週2~3日</li> <li>対象：24時間体制の看護ケアを必要とする、複雑な医療ニーズを有する回復者</li> </ul>



「脳卒中は私たちが消し去ることはありません。回復者は脳卒中よりも強いのです。」

レイチェル・カストロ  
脳卒中回復者

Stroke Connection Magazine, 2017年10月号

## 施設の種類の種類 (続き)

外来クリニック
<ul style="list-style-type: none"> <li>主治医による継続的なフォロー</li> <li>各専門領域につき週1~2回、または必要に応じた療法</li> <li>対象：医学的に安定しており自宅に戻ることが可能だが、なお後遺症が残っている回復者</li> </ul>
在宅医療 (ホームヘルスケア)
<ul style="list-style-type: none"> <li>主治医による継続的なフォロー</li> <li>必要に応じた療法</li> <li>対象：自宅での生活が中心で、外来リハビリ施設へ通院することが困難な回復者</li> </ul>

## リハビリテーションチームの構成メンバー

リハビリテーション看護師
<ul style="list-style-type: none"> <li>障害をもつ方の支援を専門とする看護師。脳卒中に影響を与える健康問題（例：糖尿病、高血圧など）の管理を支援し、脳卒中後の生活への適応をサポートする。</li> </ul>
理学療法士 (PT) / 理学療法助手 (PTA)
<ul style="list-style-type: none"> <li>移動やバランスに関する問題の改善を支援する。歩行、立位、その他の活動に必要な筋力を強化するための運動を提案する。</li> </ul>
作業療法士 (OT) / 作業療法助手 (OTA)
<ul style="list-style-type: none"> <li>食事、入浴、更衣、書字、調理などの日常生活動作を管理するための方法や工夫を学ぶ支援を行う。</li> </ul>
言語聴覚士 (SLP)
<ul style="list-style-type: none"> <li>発話、言語、認知機能（会話、読解、書字、記憶、問題解決など）の再獲得を支援する。また、嚥下障害の治療を行う。</li> </ul>
ナースプラクティショナー (NP) / フিজィシャンアソシエイト (PA)
<ul style="list-style-type: none"> <li>リハビリ期間中の脳卒中回復者の日常的な医療管理を担当する専門職。</li> </ul>
リハビリテーション科医 (PM&R)
<ul style="list-style-type: none"> <li>外傷、事故、疾患後のリハビリテーションを専門とする医師。</li> </ul>
神経内科医
<ul style="list-style-type: none"> <li>脳卒中および脳・脊髄のその他の疾患の予防、診断、治療を専門とする医師。</li> </ul>
管理栄養士
<ul style="list-style-type: none"> <li>特別な食事（例：とろみをつけた飲み物など）や食形態、ならびに健康的な食事（例：減塩、低脂肪、低カロリー）について指導を行う。</li> </ul>

## リハビリテーションチームの構成メンバー (続き)

薬剤師
<ul style="list-style-type: none"> <li>薬剤管理を行い、安全かつ適切に使用されていることを確認する。</li> </ul>
ソーシャルワーカー
<ul style="list-style-type: none"> <li>リハビリプログラム、生活環境、保険、在宅支援サービスなどに関する意思決定を支援する。</li> </ul>
心理士 / 臨床心理士
<ul style="list-style-type: none"> <li>思考、記憶、行動の変化やうつ状態などに直面している回復者を評価・治療する。</li> </ul>
ケースマネージャー
<ul style="list-style-type: none"> <li>フォローアップの調整を支援し、複数の専門職によるケアを連携させ、地域の支援サービスにつなぐ。</li> </ul>
その他のチームメンバー / サービス
<ul style="list-style-type: none"> <li>レクリエーション療法士、音楽療法士、美術療法士、アニマルセラピー、鍼治療、マッサージ療法 など</li> </ul>

